

コミュニケーションで成績を上げる

チーム基盤型学習(TBL)の手法

■講師



立川 明

(高知大学・総合教育センター・准教授)

高知大学理学部化学科卒。九州大学大学院分子工学専攻前期博士課程修了。高知大学理学部助手。高知大学大学教育創造センター(現総合教育センター大学教育創造部門)准教授。SPOD フォーラムでアクティブラーニングの講習を担当。

■プログラム概要

チーム基盤学習は協同学習の要素が盛り込まれ、知識をたくさん取り扱いたい授業に適したアクティブ・ラーニングの手法です。200 人のクラスでもひとりの教員でコントロールできるとか、時間外学習が確実に 30 分増えると言った特徴があり、知識獲得と同時にコミュニケーション能力を高め、楽しく成績が上げられます。

この研修では、TBL の一連の流れを、体験していただくことによって、ご自分の授業に取り入れるための準備ができるようになります。また、実際に授業に取り入れる場合、どのような注意が必要かについても解説いたします。

■主な受講対象

授業で知識をたくさん扱いたい、効率よく学生に記憶させたい、学生を元気にしたい教職員。

■本プログラムの到達目標

1. TBL の流れが説明できる
2. TBL の効果として期待できることが説明できる
3. TBL のための良い問の3つの条件が説明できる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月23日(金)13:00~15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミューズ 3階 M32教室

定 員 : 40名